



です・だった・じゃない

この課ではこの課では「～です」「～だった」「～じゃない」などの表現を学びます。

1. だ・だった

日本語の「～だった」は、しまむにでは「**あたん**」と言います。これは、動詞「**あん**」の過去形です。他に「**やたん**」という言い方もあります。

(1) ^{わたし}「私の母は、昔、先生**だった**」

わん	あま=※わ	むかし	せんせい	あたん
私の	母=は	昔	先生	だった

(2) 「ここは昔、畑**だった**」

まー=わ	むかし	ふあつてー	やたん
ここ=は	昔	畑	だった

ちなみに「～だ」と、現在のことを表すときには、動詞「**あん**」は使わずに「**どー**」や「**でゃー**」などの終助詞しゅうじょしを使って表します。

(3) 「あの人は、先生**だよ**」

あん	ちゅー=わ	せんせい=どーやー
あの	人=は	先生=だよ

(4) 「あれはくじら**だ**」

あり=わ	ぐじや=でゃー
あれ=は	クジラ=よ

※ このテキストでは、他の言葉と区別するために、助詞の前に「=」をつけています



2. じゃない・じゃなかった

「～じゃない(ではない)」を表すには「**あらん**」を使います。これは、動詞「**あ**ん」の否定形です。

(5) 「あれはこの世の人間**ではない**…」

あり=わ	ふぬ	ゆ=ぬ	にんげん=わ	あらん
あれ=は	この	世=の	人間=は	ない

(6) 「あれは花子**じゃない**。美保子だよ」

あり=わ	はなこ	あらん	みほこ=どー
あれ=は	花子	じゃない	美保子=だよ

「～じゃなかった」を表すときには「**あらだなたん**」と言います。これは動詞「**あ**ん」の否定過去形です。

(7) 「昔、テレビはカラー**じゃなかったよ**。白黒だったよ」

むかし	テレビ=わ	カラー	あらだなたん	しろくろ	あたん=どー
昔	テレビ=は	カラー	じゃなかった	白黒	だった=よ

3. です・でした

日本語の「～です」は、しまむにでは「でいろ」と言います。

(8)

「私は花子**です**」

わぬ=わ	はなこ	でいろ
私=は	花子	です

(9)

「あれは何**ですか**？」

あり=わ	ぬー	でいろ=よー？
あれ=は	何	です=か

「**でいろ**」は活用変化をしません。「～^{かこ}でした」と過去のことを言いたいときには、1で紹介した「**あん**」の丁寧過去形「**あやぶたん**」を使います。

(10)

「あの人は昔、先生**でした**」

あん	ちゅー=わ	むかし	せんせい	あやぶたん
あの	人=は	昔	先生	でした

4. 「あん」「や」の活用

このように、日本語の「～だった」「～じゃない」「～でした」などの表現は、動詞^{どうし}「あん」や「や」を活用して表します。こうした「あん」と「や」の主な活用について、表1でまとめます。

表1. 「あん」「や」の活用形

		あん aN「～だ」	や ya「～だ」
じょうけん 条件形	-riba	ありば a-riba 「～ならば」	やりば ya-riba 「～ならば」
ひてい 否定形	-raN	あらん a-raN 「～じゃない」	
ひていかこ 否定過去形	-radanaataN	あらだなあたん a-radanaataN 「～じゃなかった」	
連用形	-i	あい a-i 「～(みたい)」	yai ya-i 「～(みたい)」
ていねい 丁寧形	-yabu	あやぶん a-yabu-N 「～です」	
ひかこ 非過去形		あん a-N 「～だ」	
テ形	-i	あてい at-i 「～で・～だから」	やてい yat-i 「～で・～だから」
かこ 過去形	-a	あたん at-a-N 「～だった」	やたん yat-a-N 「～だった」

練習問題

下記の単語を使いながら、しまむにの文に直してみましょう。
その時に、特に下線部をしまむにで何というか注意しましょう。
助詞^{じょし}については 4-3「いろいろな助詞^{じょし}」を参考にしてください。

あちゃ(父)

わめ(私)

うとう(弟)

あや(姉)

みー(兄)

(1) たかしは私の兄^{あや}じゃない。弟だ。

(2) 私の父は、昔、先生^{あや}だった。

(3) 私はたかしの姉^{あや}です。

